

我々の組織について考え 原点に立ち返ろう

2015-2016年度
和歌山東ロータリーのテーマ



Be a gift
to the world
2015-2016年度 国際ロータリーのテーマ

国際ロータリー第2640地区
和歌山東ロータリークラブ
URL: <http://www.werc.jp> E-mail: info@werc.jp

に隣接する売店の飼猫でありました。住むところを追われて困っていたのを助けたら、その恩返しがすごかった。廃線寸前の地方の小さな鉄道に光を当て、地域や地方鉄道に希望や誇りを取り戻させてくれました。たまの活躍は社会現象となって各地に動物駅長が誕生し、地方鉄道の「公有民営化」の法整備や「交通政策基本法」成立の一翼を担う活躍で地方公共交通の未来を後押ししてくれました。

では、様々な取り組みを通じて成果はどうだったのか。和歌山電鉄として、数字的にはざっくりですが、開業前は3億の運輸収入が現在では3億5千万円になり15%増加しました。輸送人員も192万人から230万人近くまで増えました。損失も年間5億円から近年では6千~8千万円に改善しています。

貴志川線の課題をお話しします。1つには、お客様を増やして行く施策です。この地域の利用者だけでは、この貴志川線を維持していくのは困難なため、沿線に立派な由緒のある神社が3つありますのでこれをPRしていこうと思っています。2つ目は、駅に隣接した土地利用の問題です。貴志川線は土地が自治体所有ですので、和歌山電鉄としての賃貸はできません。それが大きなネックになっています。3つ目は、運営スキームの問題です。地方鉄道を健全に、安定永続するには公設民営(上下分離)が必要だと思っています。

様々な逆境に耐え大幅に収支は改善し、南海時代5億円の赤字を8200万円/年間以内で乗り切り、その上補助金も使い切らずお返しできましたが、近年でも6,000万円~8000万円の赤字が出ている状況です。

私どもは、声援を受けながら熱い思いを持ち続けて10年間走り続けて参りました。給与も安い、仕事内容もきつい、辞めていく社員も後を絶たない、今頑張っている社員は、この地域で地域のために役立てるなら、残って頑張りたいという気持ちをもった社員ばかりです。この存続できた貴志川線を「日本一心豊かなローカル線にしたい」を合言葉にこれからも、社員一同、頑張っまいますので、皆様の末長いご支援、ご協力をお願いいたします。

会 長 報 告

田原 久一 会長



皆様、こんにちは。会長報告をさせていただきます。
本日は、クラブ協議会です。当クラブ担当のガバナー補佐 豊田泰史さんがお見えになりクラブ協議会に参加されます。
皆さんに本日、辻秀和ガバナー公式訪問の冊子が配布されておりますが、各委員長と3年未満の入会者にご参加ください。この冊子は新入会員の皆様にとってクラブの内容がよく分かるようになっておりますので、何回もお読みになって一日も早くクラブをご理解ください。

私は勉強不足がたたって3年位はよく内容が分かりませんでした。今でも忘れがちなので、カバンに入れて必要な時に見ております。

また2月11日は今回初めてIM3組の合同のガバナー訪問、15日は新入会員歓迎会、18日は創立57年記念夜間例会、27日・28日には地区大会が行われます、会員の皆さんには、お忙しいとは思いますが、必ず出席をお願いします。

幹 事 報 告

赤井 雅哉 幹事



・田辺東R.C.より第11回ジュニアゴルフ大会のご案内が届いております。
・来週の2月4日の例会は、2月11日(祝・木)のI.M.3組に変更になっております。例会扱いになりますので、欠席のご連絡を頂いている方も都合がつけば是非ご出席下さい。
・本日例会終了後、クラブ協議会を開催しますので入会3年未満の方も是非ご出席いただき、委員長になったときの参考にさせていただければと思いますので、よろしくお願いします。

卓 話 「地方鉄道の活性化、和歌山電鉄の取り組み」 和歌山電鉄株式会社 総務企画部営業企画課長 竹添 善文さん



和歌山電鉄は、岡山電気軌道の100%出資の会社で、両備グループ約50社の内の一社になります。貴志川線を引き継いで4月1日で開業10周年、路線としては大正5年の開業から2月15日で100周年を迎えます。記念事業として春先には和歌山特産の梅をテーマにした「うめ星電車」を運行予定です。
当時、岡電は、他都市の廃止案が出ている地方鉄軌道会社からも相談を受けていた経緯もあって、地元根付いた地元同業者によって存続させていくことが地域にとってベストの方策と常に主張していました。

何故和歌山の路線を引き受けようと思ったのか、
①応募者の中に鉄道経営者がいなかった。(安全が保たれない) ②地方鉄軌道の生き残り策のモデルにしたかった。
③岡電の地元岡山を含め、全国のLRTの普及にも繋がると思った。 ④地方の公共交通の実情を訴えたかった。
⑤お客様への恩返し

引き受ける条件とは、
要はこの三つが揃わなければ、地方鉄道は活性化しないということです。
①沿線住民の熱意(行動、お金) ②地元自治体、議会、国の支援の確立 ③既存事業者の全面協力

引き受ける決定要素とは、
①沿線人口が減ってないこと。 ②日前宮、竈山、伊太祁曽はじめ神社などの歴史財産がある。 ③観光面からも大きくないが、小さな施設もあり、物産もある。 ④道路整備が整っていない。(クランクが二箇所) ⑤給与水準が同程度であり、中小の経営ノウハウで経費の5割がカットできる。

和歌山電鉄の基本姿勢は、社員が何でもやる。考えたことはまず実行してもみる、失敗しそうになったら、即見直す、数を打つ、その中でいいものを残しながら、新しいものをつくっていく繰り返しの姿勢をつけています。

わたしどもの社員は、現場にいるものはすべて直接社員、職種にとらわれず運転士が改札業務もすれば管理職が運転士もする、役員はすべて無報酬です。地元の方は清掃活動やイベントの手伝いをボランティアで活動しています。社員は地元の方の気持ちに応えるため、休みや退勤後に地元の会合に出席したり、清掃活動に社員もボランティアで参加する。そういったことの、相乗効果で利用者の減少に歯止めがかけられ、192万人だった利用者数は現在では230万人近くまで伸ばすことができたと思っています。

今や全国的いや世界的に有名になっている、たま駅長についてご紹介させていただきます。このたま駅長は、貴志駅

豊田泰史ガバナー補佐をお招きしてのクラブ協議会が開催されました。 (2016.1.28 例会終了後)



ガバナー補佐 豊田 泰史さん
(和歌山南 R.C.)



にこにこ箱

ありがとうございました

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------------------------------------|
| 笹島 良雄さん 豊田ガバナー補佐殿、本日は御指導の程宜しくお願い致します。 | 赤井 雅哉さん 和歌山電鉄竹添様本日はありがとうございます。 |
| 亀田 直紀さん 竹添様、本日はありがとうございます。 | ガバナー補佐豊田様、今日はよろしくお願いします。 |
| 乾 敦雄さん 豊田ガバナー補佐様、本日はよろしくお願い致します。 | 上中 崇司さん 豊田ガバナー補佐、本日はありがとうございます。竹添様、本日の卓話よろしくお願いします。 |
| 木下 智仁さん 妻にきれいな花をありがとうございました。 | 阪神タイガース応援団一同 豊田様、本日よりお願いします。 |
| 田原 久一さん 家内の誕生日にお花ありがとうございました。 | |

本日の累計 18,000円(計7名 8件) [お誕生日お祝い 310,000円 皆出席表彰 35,000円 その他 1,198,864円 累計額 1,543,864円]

- | | |
|----------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------|
| 》 本日の例会 2月11日(祝・木) 15:00~ 於 ダイワロイネットホテル4F
■ I.M. 3組 | 》 前回の例会 1月28日(木)
■ 卓話「地方鉄道の活性化、和歌山電鉄の取り組み」
和歌山電鉄(株) 課長 竹添 善文さん |
| 》 次回の例会 2月18日(木) 15:00~ 於 ダイワロイネットホテル4F
■ 創立記念例会 | ■ ロータリーソング 島 公造 ソング委員
「和歌山東ロータリーの歌」 |

出席報告	会員数 44名(内出席規定適用免除会員12名)	1月28日(本 日)	30名/38名	78.9%	皆さん、出席してください。
	内畑 瑛造 出席副委員長	1月14日(メーカーキャップ後)	30名/38名	78.9%	